

コミュニティの活動に参加してみよう！

＼よりよい暮らしを自分たちでつくる／

町会では、“明るく住みよいまちづくり”をすすめています

いつも安心・安全

登下校時の見守りや防犯パトロール、防災訓練、害虫の防除などを地域のボランティアの方々により運営・実施しています。



ごみ出しが快適

ごみステーションは町会等でみんなが使いやすい場所を定め、器材なども工夫し、協力してきれいに管理を行っています。



夜道が明るい

街路灯(防犯灯)の維持管理(電気代等)の一部には町会費が充てられています。



公民館では生涯学習の拠点としてさまざまな行事を行っています

社会体育大会

健康増進や地域住民の交流を目的とし、年齢や体力に関係なく、生涯にわたって運動・スポーツに親しむ機会となっています。

文化祭

公民館で活動する地域住民が日頃の成果を披露する場であり、作品展示や演技発表等、地域における文化の振興と活性化が図られています。

二十歳のつどい

二十歳になった若者を祝い、成人としての自覚と責任を促す式典です。地域への愛着を深める機会にもなっています。

※活動内容は各町会・公民館により異なります。

市からのお知らせ



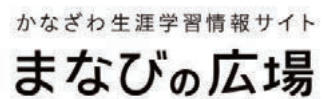
電子回覧板(結ネット)を活用してみませんか？

金沢市では、地域における情報共有と発信、町会等役員の負担軽減及び若い世代の活動への参加を促進するため、電子回覧板等アプリの導入などを支援しています！

詳しくはこちら→



※金沢市が導入を支援している電子回覧板です。



生涯学習に関する情報サイトがあります！

公民館をはじめ生涯学習に関する情報を発信中！様々な「まなび」やイベントの情報がご覧いただけます！

詳しくはこちら→



西南部地域



米丸公民館 / 米丸親子の学び場

金沢のコミュニティ

～地域活動で“つながろう”！～

金沢市・金沢市教育委員会

地域コミュニティ、町会に関すること…金沢市市民局市民協働推進課

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
TEL:076-220-2026 FAX:076-260-1178 Mail:kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

生涯学習、公民館に関すること…金沢市教育委員会生涯学習課

〒920-8577 金沢市柿木島1-1
TEL:076-220-2441 FAX:076-220-2488 Mail:syougaku@city.kanazawa.lg.jp

金沢の 地域コミュニティについて



金沢は、城下町の歴史や文化、恵まれた自然環境の中で、豊かな人間性や高い連帯意識と相互扶助の精神を育んできました。昭和初期からは「善隣館」を地域福祉や社会教育の拠点として、隣近所で助け合いながら、地域住民の自発的な活動が実践され、現在では、町会、公民館、婦人会、社会福祉協議会、消防団など地域住民により組織される団体が、自発的に特色ある活動に取り組んでいます。



町会とは



町会は地域住民が自主的に運営している団体です。地域住民の親睦を図るとともに、地域の安全・安心に取り組み、良好な生活環境を築いていくことを目的としています。町会へ加入し、「地域の一員」として、様々な行事や活動に参加することで、交流や親睦が深まり、地域の連帯感が培われ、いざという時に支え合い、助け合うことができます。

金沢の公民館



金沢市には61館の地区公民館があり、地域の生涯学習やコミュニティ活動、防災の拠点として重要な役割を果たしています。このように多くの公民館が市民の生活に深く根ざした活動を行っていることは、全国でも非常に珍しいと言われています。地域の学びや交流、防災に貢献しており、私たちの生活を支える大切な財産です。

金沢方式とは

本市では、『金沢方式』とよばれる特色ある地域運営方式により、地区公民館の設置・運営を行っています。

地域主導

運営(維持管理、役職員選任など)を各地域に委任しています。

ボランティア

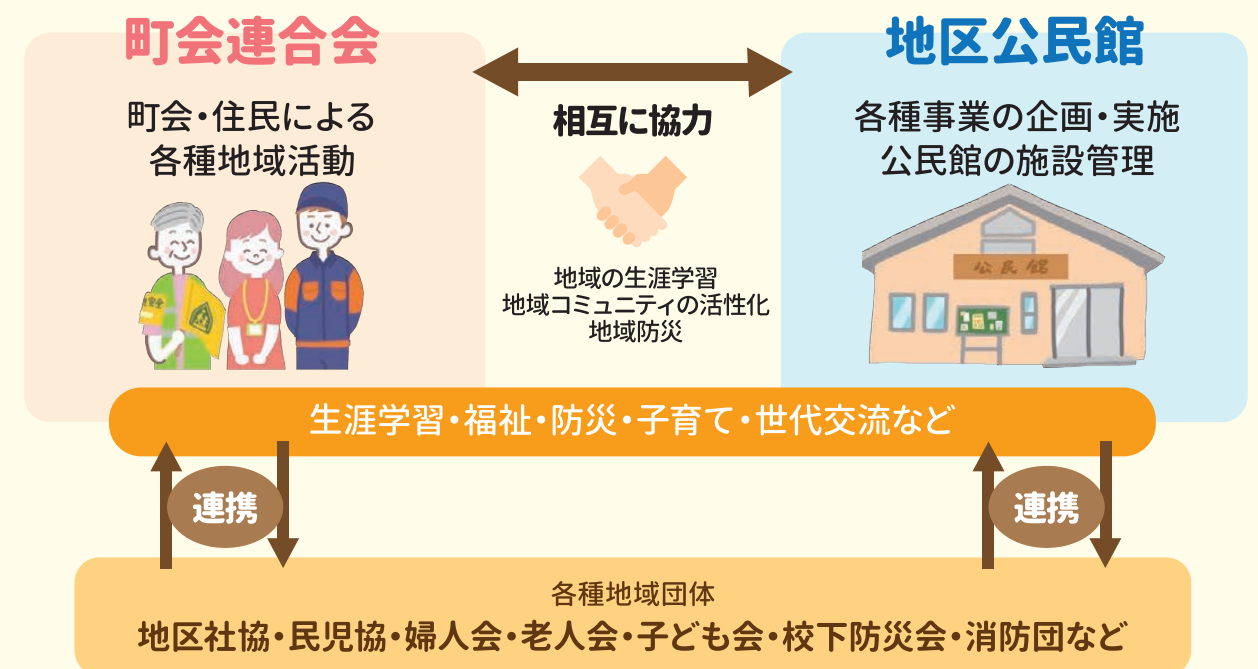
活動は多くのボランティアの方々によって支えられています。

地元負担

運営費や施設の整備費の一部は、地元負担(最大1/5※)によってまかなわれます。 ※世帯数によって異なります。

- 自分たちの地域は自分たちで守り育て、運営していくという基本的な考え方のもとで確立された「金沢方式」は、全国でも特色ある地域運営方式であり、地域のコミュニティ活動に地域住民が主体的に参画することにつながっています。
- 「金沢方式」は、地元が一部負担してでも各校下(地区)に公民館の設置を望む地域住民の声を受けて、身近な地域活動の拠点として地区公民館を設置したことに始まり、地区児童館や消防団においてもこの方式により整備されています。

金沢のコミュニティの図



町会連合会等 活動紹介

※一部の地域をご紹介します

チカモリジョンガラ踊りの夕べ



子どもたちによるチカモリ太鼓の演奏

そろいの梅鉢の浴衣や菅笠姿で
伝統のチカモリジョンガラを踊る



宵闇とともに祭りは最高潮へ



金沢第一消防団押野分団
による「加賀鳶はしご登り」

チカモリジョンガラは、約800年前の鎌倉、室町時代から伝わる民謡踊りです。戦後に一度途絶えましたが、平成元年に住民の手で復活し、今では西南部校下全体で受け継がれています。

毎年8月には、国指定史跡チカモリ遺跡公園で「チカモリジョンガラ踊りの夕べ」を開催。婦人会の皆さんを中心にチカモリジョンガラの踊りの輪が広がり、広い会場にはたくさんの住民が集まります。ボランティアによる模擬店にも長い列ができ、毎回大きなぎわいを見せています。令和5年には、婦人会を中心に「チカモリジョンガラ踊り保存会」が発足しました。小学校の運動会や社会体育大会でも踊りを披露し、保存活動と次の世代の育成に力を入れています。こうした取り組みが実を結び、令和7年に「チカモリジョンガラ」は市認定歴史文化遺産(地域のお宝)に登録されました。

西南部校下町会連合会

西南部地区について

西南部地区は、住宅地と里山が共存する地域です。子育て世代から高齢者まで、約1万人の住民が支え合いながら暮らしています。縄文時代の遺跡も残り、古くからの歴史や伝統文化は、住民の大切な誇りです。



世代を超えて
みんなで盆踊りを
楽しみます



西南部校下町会連合会 会長 中川 俊一さん

子どもが町内の子ども会に入ったのをきっかけに、町内会活動にかかわるようになりました。私自身も毎年ジョンガラを踊ると「夏が来たな」と感じます。祭り会場で、最初は見ているだけだった人が自然と踊りの輪に加わり、準備や運営にも参加するようになる姿を見ると、この行事が地域に根付いてきたことを実感します。



AEDの使用方法を地域の
住民や子どもたちが
熱心に聞き入る



土のう積みの訓練、初期消火訓練を実施



地震を疑似体験できる地震体験車

三和校下町会連合会

三和校下防災訓練

毎年10月、拠点避難所である三和小学校において、災害発生に備えた校下防災訓練を実施しています。訓練には600~700名が参加し、河川水防課、金石消防署、第一消防団押野分団、地区在住の防災士、三和小学校および各種団体の協力のもと、安否確認、地震体験車、土のう積み、初期消火、AED取り扱い訓練などを行います。また、200世帯あたり一か所の防災倉庫を設置し、災害発生時に即応できるよう備えています。さらに、平成29年8月には、いなほ工業団地と災害時の協力覚書を交わし、地域全体で災害への備えを進めています。



押野校下町会連合会

通学路クリーン作戦

押野小学校の入学式前の日曜日、校下全体で通学路の清掃活動を行っています。それぞれの自宅から小学校に向かって歩きながら、側溝や道路わきに落ちているごみを拾う取り組みです。新一年生がきれいな通学路を気持ちよく歩けるように、そんなお祝いの気持ちを込めて実施しています。ごみの中には、車の部品や割れたビン、汚れた空き缶、ビニール傘などさまざまなものがあり、新一年生はもちろん、地域全体の安全にもつながります。この活動には、毎年多くの住民が参加し、押野校下の恒例の行事となっています。

きれいで安心な通学路を歩き、
新一年生は入学式へ向かいます



通学路の清掃活動。集めたごみは公民館の駐車場に集積します





米丸公民館

米丸親子の学び場 “SNSトラブルから子どもを守るためには”



グループに分かれ
情報や意見を交換



家庭でのインターネットやスマホの使用ルールを話し合う

米丸地区について

米丸地区には現在28の町会があります。米丸小学校の児童数は金沢最多で、活発な米丸っ子が元気に成長しています。地域内には公園やスポーツ施設があり、多くの市民が利用することで活気あるまちづくりに役立っています。

近年、SNSが小学校の低学年においても利用が広がっている現状を踏まえ、親子でSNSについて学ぶ場を設けました。令和7年7月29日の午後7時から、金沢市教育委員会生涯学習課からの紹介でスマホアドバイザーの石川きょうこさんを講師に招き、子どもたちを取り巻くSNSの現状について話していただきました。



当日は校区内の保護者と子どもたちが公民館のホールに集まり、グループセッションを行ったり、子どもと親それぞれの立場から意見を発表しました。講師の講義内容は身近に実践できるもので、参加者は熱心に耳を傾けていた様子です。参加した保護者からは「小学生のスマホ事情が分かってよかった」「子どもと一緒にスマホやSNSのルールを決めようと思った」「アプリの利用についても勉強になった」といった声が聞かれました。

今回の講座を開くにあたり、子ども会や育友会に協力を依頼し、両者とのつながりがより密になったことで、秋の文化祭など、今後の公民館行事において連携を生かしたスムーズな運営体制の実現が期待されます。米丸公民館では、学習、コミュニケーションの場として、公民館としての役割を果たすため、今後もさまざまな角度から親子で学べる場を提供していきます。

☎ 076-291-1171

撮影日：令和7年7月29日



講師と参加者で記念撮影

社会体育大会

新神田公民館



秋に町会対抗の社会体育大会を金沢市立新神田小学校のグラウンドで開催しています。町内対抗競技と自由参加競技があり、幼児・小学生のかけっこやホールインワン競技など、バラエティに富んだ構成で、年齢を問わず参加できます。町内対抗戦ではチームワークが必要な競技が多く、応援にも熱が入ります。

☎ 076-291-0025

撮影日：令和元年9月29日

西南部公民館

チカモリ縄文まつり

縄文時代の集落跡である国指定史跡チカモリ遺跡。毎年6月初旬に遺跡を整備した公園で「チカモリ縄文まつり」を行い、火起こしや勾玉づくりなど、縄文時代にちなんだ体験ができます。令和7年度は、ボーイスカウトや埋蔵文化財センター、地域の中学生や高校生も祭りの運営に協力し、来場者はさまざまな体験を楽しみました。

☎ 076-240-8860

撮影日：令和6年6月2日



押野公民館

町会対抗ポッチャ大会

投げた球をいかに目標玉に近づけるかを競うポッチャは、パラリンピックの正式種目でもあり、誰でも一緒に競い合えるスポーツです。金沢市立押野小学校の体育館で町会対抗ポッチャ大会を実施し、三世交流と地域住民の活発なコミュニケーションを育てています。競技を通して、公民館の目的である「集い・つながる」を体現しています。

☎ 076-247-0856

撮影日：令和6年11月



史跡フェスタ「みわ」

三和公民館



上荒屋7丁目にある東大寺領横江荘遺跡(上荒屋遺跡)は奈良時代から平安時代にかけての荘園の遺跡。昭和62年～平成3年の発掘調査で多くの遺構が見つかりました。遺跡にちなみ、史跡フェスタ「みわ」を開催し、勾玉や土器づくり、火起こしなどの体験メニューを用意。人気が高い平安時代の衣装体験では、スタッフによる撮影が好評です。

☎ 076-240-7530

撮影日：令和6年7月20日

公民館へのアクセスはこちら ▶▶

